

## コラム 関東地方整備局と連携した現場見学会、技術講演会の開催

関東地方整備局の技術サポート研究会と連携し、整備局が業務を実施する場合に直面する技術的課題の解決や整備局職員の技術力向上を目標に、現地調査等による情報収集や技術講演会等を通じた情報提供などの活動を行っています。平成26年度は、大規模土工や軟弱地盤対策等の難工事現場で直面する課題解決に向けた現場見学会や土工構造物の老朽化等に係わる情報提供などを行いました。その中から、現場見学会と技術講演会の例を紹介します。

### ①現場見学会

- ・日時：平成26年10月3日（金）
- ・場所：中部横断自動車道（富沢IC等）  
国道52号（万沢地区、古屋敷地区）  
※いずれも山梨県内
- ・参加者：10名以上（整備局）
- ・概要：中部横断自動車道の富沢ICでは切土工事現場、国道52号では防災対策工事現場を調査し、事前に把握できなかった切土工事現場の地盤状況や防災工事の実施で必要となる雨量規制区間の考え方等について、整備局職員と意見交換を行いました。



写真-1 切土工事現場（富沢IC）

### ②技術講演会

- ・日時：平成26年10月27日（月）
- ・場所：関東地方整備局宇都宮国道事務所（栃木県）
- ・参加者：40名  
（整備局：26名，自治体：14名）
- ・概要：平成25年に国土交通省が始めた道路インフラの老朽化対策において、道路土工構造物のシェットや大型カルバートが新たに近接目視点検の対象となったことを受け、道路メンテナンス全体の動向、道路土工構造物の老朽化・変状事例や点検のポイント、土砂災害事例等を整備局職員に紹介しました。



写真-2 防災対策実施状況（古屋敷地）



写真-3 技術講演会の様子